

加藤順一氏の講演についての質問

慶應大学 工学部 菊池 紀夫

質問者

コーシー問題に関して解の一貫性のない微分方程式に対応した力学系について、おもしろい進展があるでしょうか。

講演者

いまのところ、あまり成功しているとは言えないようである。

質問者

Sacker & Sell のように抽象的(定性的)扱いではなく、具体的に方程式の係数の(定量的な)形から Exponential Dichotomy の扱いを W. A. Coppel がやっている。

(これについて、東北大学の中島文雄氏から補足的説明があった。また、同氏の Exponential Dichotomy の成果がまとまっているそうである。)

講演者の関数微分方程式に対する拡張の試みには、触れ

うれしくて、残念に思いました。